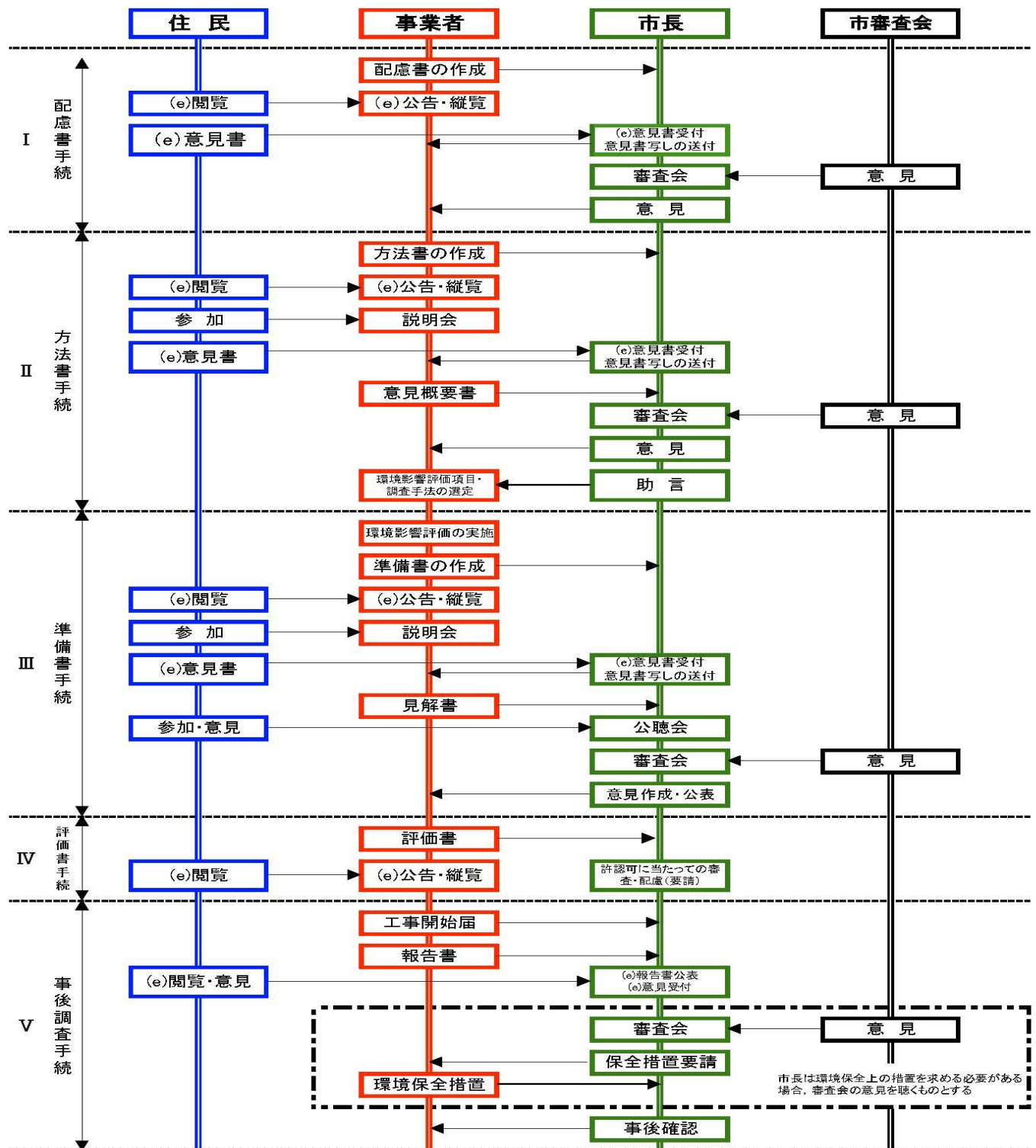


## 手続きフロー



- I 配慮書手続：事業者が、事業の立案段階において、配慮すべき環境保全事項について検討を行い、その結果を示す手続き。
- II 方法書手続：事業者が、どのような項目について、どのような方法で環境アセスメントを実施していくのかという計画を示めず手続き。
- III 準備書手続：調査・予測・評価を実施した結果を示し、環境の保全に関する事業者自らの考え方を示す手続き。
- IV 評価書手続：事業者が、準備書に対する市民意見や都道府県知事等の意見について検討し、必要に応じて準備書の内容を修正する手続き。
- V 事後調査手続：事業者が、工事着手後、工事中や供用後の環境状態を調査し、必要に応じて環境保全の措置を講ずる手続き。